



大船渡水産振興センター「復興板」

平成28年7月20日発行 第43号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成28年6月30日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、59%となっています。

(平成28年6月30日現在)

	災害査定 (H27再調査決定額)注		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	243	35,885,340	237	33,176,338	30,843,469	86.0	175
漁港海岸	11	35,171,371	11	17,286,492	10,739,535	30.5	0
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100.0	2
合計	256	71,555,591	250	50,961,710	42,081,884	58.8	177

完

注：今回から災害査定の本工事費を、平成27年度再調査決定額に修正しました。

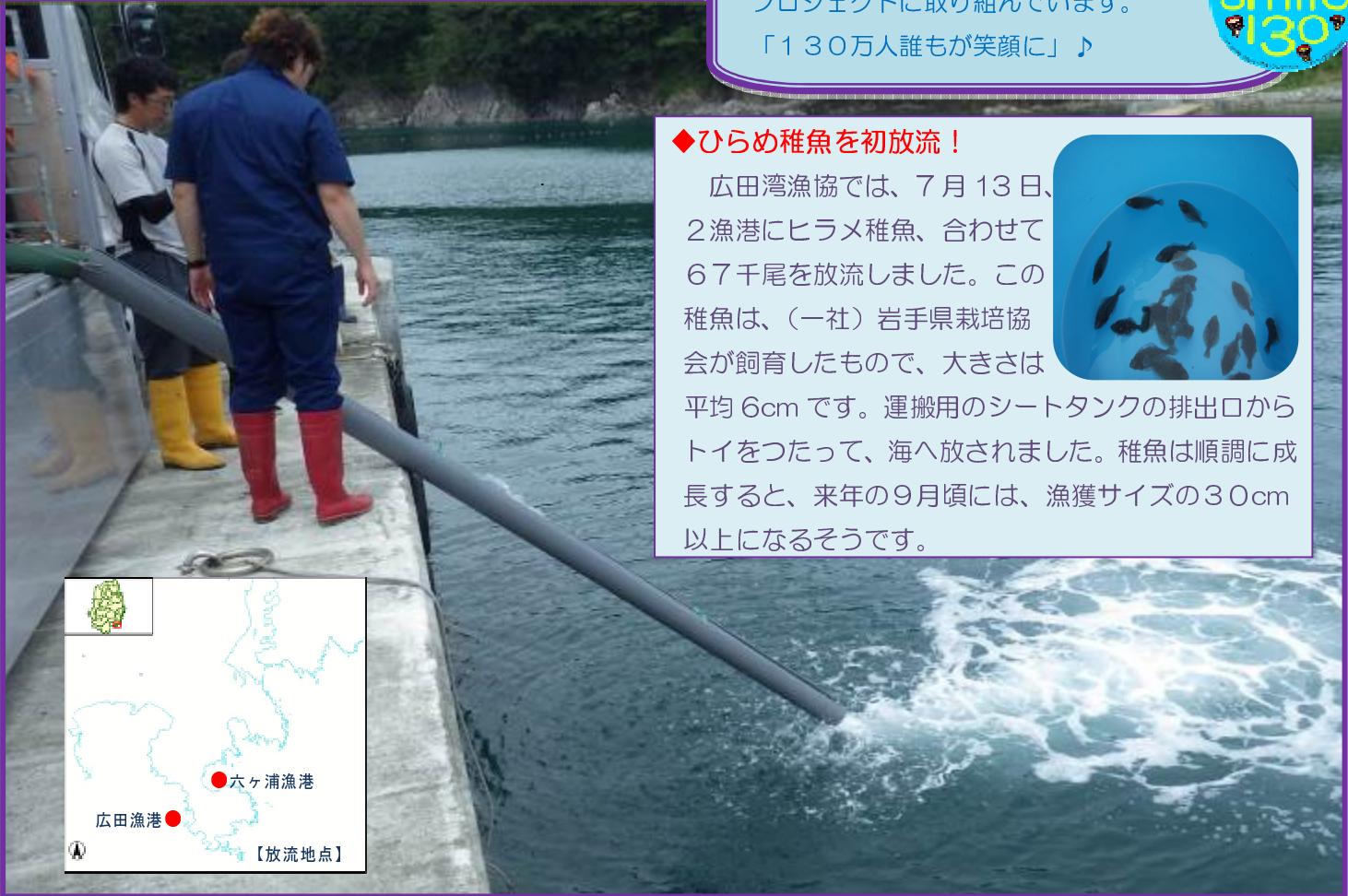
さっちゃん NEWS part1

「さけの子さっちゃん」はスマイル130プロジェクトに取り組んでいます。
「130万人誰もが笑顔に」♪



◆ひらめ稚魚を初放流！

広田湾漁協では、7月13日、2漁港にヒラメ稚魚、合わせて67千尾を放流しました。この稚魚は、(一社)岩手県栽培協会が飼育したもので、大きさは平均6cmです。運搬用のシートタンクの排出口からトイをつたって、海へ放されました。稚魚は順調に成長すると、来年の9月頃には、漁獲サイズの30cm以上になるそうです。

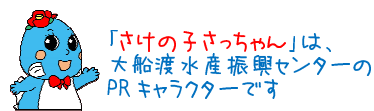


★★★スマイル130(いちさんまる)プロジェクトについて★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。



2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成 26 年度	荷さばき施設 完	広田湾漁業協同組合
	冷凍庫	大船渡湾冷凍水産加工業協同組合
平成 27 年度	漁具倉庫 完	広田湾漁業協同組合
	定置番屋	越喜来漁業協同組合

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成 28 年 1 月から 6 月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成 28 年 (震災後)		平成 27 年 (震災後)		平成 20 年から平成 22 年の平均 (震災前)		前年比 (H28/27)		震災前平均との対比	
数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量 (%)	金額 (%)	数量 (%)	金額 (%)
9,928	814,541	14,337	1,035,023	11,436	1,138,580	69.2	78.7	86.8	71.5

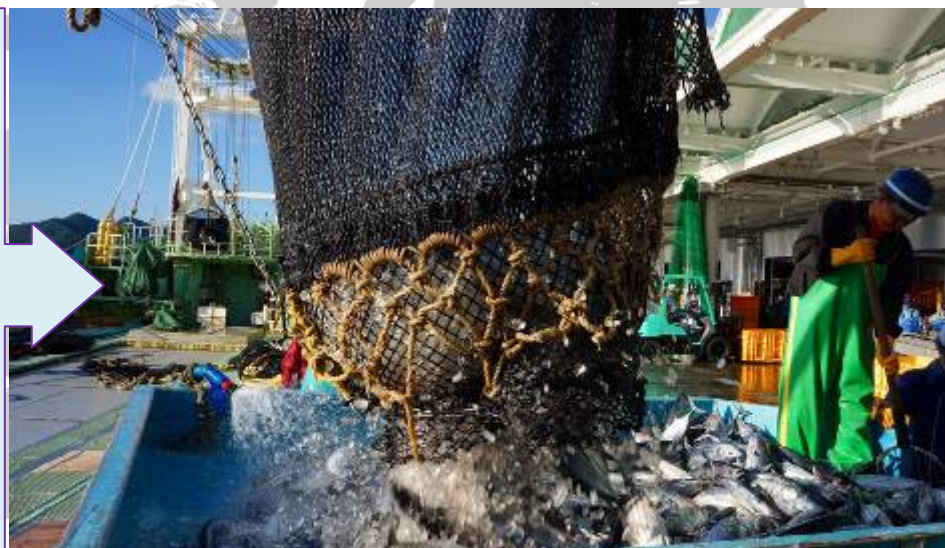
6月は主に、サバ類(420t、32,601千円)、ブリ(297t、63,657千円)、カツオ(92t、26,800千円)、貝類(11.8t、1,691千円)、タコ類(6.1t、3,049円)、マダイ(6.0t、4,854千円)、ほや類(5.4t、717千円)、ヒラメ(5.1t、3,615千円)、マンボウ類(3.5t、2,541千円)が水揚げされています。

さっちゃん NEWS part2

◆カツオ水揚中!

大船渡魚市場では、6月5日のシーズン初水揚げを皮切りに、約一週間ごとにまき網船が入港して、カツオの水揚げが続いています。

初日は、まき網船2隻が入港し100トのカツオを水揚げしたそうです。(写真は6月18日水揚げ27ト)



◆アユ釣りシーズン到来!

県内の11河川では、7月1日にアユ釣りが解禁されました。管内の盛川は7月3日が解禁で、アユ釣りを楽しむ太公望の姿がありました。

さっちゃんの友達は、県内共通遊漁承認証(約2万円)を購入し、釣果は大小20匹ほど。塩焼きで、おいしく食べたそうです。



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター

〔担当 平田〕

岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階

TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229

E-mail:BG0004@pref.iwate.jp

